

(2) メール方式の利用

遠隔地のため来所できない生徒や電子計算機を設置していない学校のために、郵送による（メール方式）OMR利用の道を開いている。

本年度の利用は、延べ 359人であった。

制御工作機械（フライス盤）を利用しており、本年度は、4校延べ 433人の実績であった。

今後とも各学校と有機的な連携を保ちながら、さらに実習の指導方法に改善を加え、生徒の学習意欲を高め、情報処理教育の推進を図りたい。

2 数値制御工作機械の実習

主に工業高校の機械科の生徒が、センターへ来所して数値